

市議会 いせさき

\ 伊勢崎のさがわかる /

第1回
定例会

No.81

2021.4.1

令和3年度伊勢崎市一般会計予算など49議案を可決



2 定例会の概要

2 主な議案の概要

3 施政方針演説と代表質疑

4 一般質問

11 予算特別委員会審査

13 常任委員会審査・特別委員会調査

14 議案等の議決結果

16 各種お知らせ

伊勢崎市議会議場での臂市長施政方針演説

臂市長の施政方針演説 と 各会派の代表質疑

施政方針演説(要旨)

私は、これまでの市議5年、県議10年の経験を生かし、市民の皆様と共に地方創生という時代の船に乗り、新たな伊勢崎市を作っていく所存です。二元代表制の下、市議会議員の皆様と議論を重ね、様々な施策をマネジメントしていきます。

まず、市民の皆様の命を守る・経済を守る・今後に備えるという3つの視点で**新型コロナウイルス感染症への対応**を行いながら、変化を伴う市政運営を進めなければなりません。

選挙戦を通じて市民の皆様にお示ししました市政全般にわたる政策集を、公約として今後の市政運営で実現していく必要があります。それらは、伊勢崎が花咲くようにとの思いから、イセサキ市のセイサクを「いせ咲く。」とネーミングして**8つの政策**にまとめています。

また、市政運営を始めるに当たり、市政運営のキーワードを共に生きる「共生」とし、**世代間の共生、地域間の共生、SDGsによる共生の3つの共生**を進めていきます。3つの共生に基づいた市政運営を通じて、新しい伊勢崎市を創ることで、子供たちに明るい未来を引き継ぐことができるはず。市民の皆様、市議会議員の皆様、「共に創る・共に生きる」伊勢崎市の実現を目指し、一歩ずつ未来に向けて進んでいきましょう。



施政方針演説をする臂市長

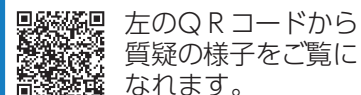
8つの政策に対する会派からの主な質疑

問 画期的な市民協働まちづくりとは、具体的にどのようなことか。(こども未来)

答 これまでの取組の良いところは継続し、まちづくりを担っていた区長会、各種団体、事業者や市民の皆様と今まで以上に連携を深めながら、対等な立場で協力し合う関係を築いていきます。また、SDGsの考えを取り入れて、多様な市民の皆様の声を聴く場を設け、共に創る・共に生きるまちづくりの実現を目指していきます。

問 自然環境の創生及び保護のための推進方法は。(有志会)

答 本市は県内他市と比べ、森林面積が少ない中で、限られた緑の残る河川敷や遊水地調節池といった公共用水域を、国や県、関係団体と連携して活用することで、自然環境の創生や保護を行っていきます。また、貴重な私有林の公有林化を目指し、ぐんま緑の県民基金事業を活用していきます。



左のQRコードから質疑の様子をご覧いただけます。

問 夜間中学設置に向けた今後の取組は。(伊勢崎クラブ)

答 県内での設置に向けて市教育委員会がこれまで取り組んできた成果を積極的に発信し、様々な課題を県教育委員会と関係自治体で協議検討しながら、しっかりとした構想を持った夜間中学になるよう県教育委員会及び市教育委員会と連携して進めていきます。

問 新興住宅地において、新たな住民自治組織の在り方を考えた安心安全な地域づくりについての考えは。(平成クラブ)

答 安心安全な地域づくりには地域の課題を整理し、必要な取組を話し合っていくことが大切と考えています。区長会及び地元住民の皆様と連携を図りながら、住民意識の一体性が醸成される地域づくりを検討していきます。

問 どのようなまちづくりの手法で人口減少を抑え、都市計画を進めていくのか。(日本共産党議員団)

答 現在策定中の伊勢崎市都市計画マスタープランを踏襲しながら本市の強みや地域特性を生かし、土地利用の規制や緩和により市域全体の統一感を持った新しいまちづくりについて調査研究を進めていきます。

問 地域医療体制の整備・拡充のために、市長部局に地域医療体制の戦略を検討する部署を位置づけるべきと考えるが、市長の所見は。(いせさき未来)

答 部署の設置については現時点では考えていませんが、コロナ禍での状況を参考に、新たに見込まれる事務に関する調査や担当者へのヒアリング等を通じて、人員配置を含め組織体制の見直しについて調査、研究していきます。

3つの共生に対する会派からの主な質疑

－ 3つの共生とは －

- ▶ 子供からお年寄りまでが支え合う「**世代間の共生**」
- ▶ 市町村合併の意味を再認識し、真に未来志向の取組を進める「**地域間の共生**」
- ▶ 外国籍の方、障害のある方、女性の方など多様な立場や様々な意見を持つ皆様との「**SDGsによる共生**」

問 市内の各大学などと連携し、本市のSDGsの取組へ学生の参加を促し、若い世代の力を伊勢崎市の構築に向けて取り入れていくことも必要と考えるが、市長の見解は。(公明党)

答 学生の皆さんとの連携は、本市主催のイベントに対し、学生ボランティアとして参加をいただいています。今後も学生の皆さんに職員と協力し、活躍していただく機会を継続して展開するとともに、得られた御意見等を地域振興に反映させていきます。

第1回

定例会の概要

2月22日
～
3月23日

市長から提出された議案 47件

- 新年度予算 11件
- 補正予算 7件
- 条例関係 17件
- 人事案件 5件
- その他 7件

議員から提出された議案 2件

2月22日 本会議

- ・ 会期決定(3月23日までの30日間)
- ・ 会議録署名議員の指名
- ・ 議席の一部変更
- ・ 補欠議員の議席の指定
- ・ 補欠議員の常任委員の選任
- ・ 世界遺産活用調査特別委員会の補欠委員の選任
- ・ 地域経済振興対策特別委員会の補欠委員の選任
- ・ 臂市長の施政方針演説
- ・ 市長提出議案(伊勢崎市部設置条例の一部を改正する条例案など8件)の提案理由の説明
- ・ 議案の審議(結果は14ページに記載しています)

2月26日 本会議

- ・ 臂市長の施政方針演説に対する質疑
- ・ 市長提出議案(伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案など32件)の提案理由の説明

3月3日 本会議

- ・ 令和3年度一般会計予算議案に対する質疑
- ・ 予算特別委員会を設置
- ・ 予算特別委員会に議案の審査を付託
- ・ 予算特別委員会の委員を選任
- ・ 令和3年度一般会計予算以外の議案31件に対する質疑
- ・ 所管の常任委員会に議案等の審査を付託

予算特別委員会

委員長、副委員長の互選

3月4日 本会議

- ・ 一般質問(質問者:議員7人・答弁者:市長、教育長、病院事業管理者及び所管の部長)
- ・ 3月5日 本会議
- ・ 一般質問(質問者:議員7人・答弁者:市長、教育長、病院事業管理者及び所管の部長)

3月9日・10日 予算特別委員会

- ・ 議案の審査 1件
- ・ 3月11日 総務委員会
- ・ 議案の審査 4件
- ・ 所管事務調査

3月15日 文教福祉委員会

- ・ 議案の審査 12件
- ・ 所管事務調査

3月16日 経済市民委員会

- ・ 議案の審査 5件
- ・ 請願の審査 1件
- ・ 所管事務調査

3月17日 建設水道委員会

- ・ 議案の審査 10件

所管事務調査

3月23日 本会議

- ・ 伊勢崎市選挙管理委員補充員の選挙
- ・ 予算特別委員会の委員長から審査結果の報告
- ・ 常任委員会の委員長から審査結果の報告
- ・ 市長提出議案(伊勢崎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案など7件)の提案理由の説明
- ・ 議員提出議案(伊勢崎市議会委員会条例の一部を改正する条例案など2件)を上程
- ・ 議案等の審議(結果は14・15ページに記載しています)

主な議案の概要

伊勢崎市部設置条例の一部を改正する条例案

機構改正に伴い、経済部を産業経済部と農政部に分割します。各部に設置する課は次のとおりです。

- 産業経済部 商工労働課・企業誘致課・文化観光課
- 農政部 農政課・土地改良課

伊勢崎市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

診療科目を追加及び変更します。対象の診療科は次のとおりです。

- 追加 消化器内科・呼吸器外科
- 変更 神経内科・脳神経内科
- 耳鼻いんこう科→耳鼻咽喉科

令和2年度 各会計補正予算

(単位:千円)

区 分		補正前の額	補正額	計
一般会計(第7号)		102,989,178	△2,138,786	100,850,392
特別会計等	小型自動車競走事業費(第2号)	19,744,681	2,348,670	22,093,351
	学校給食センター事業費(第4号)	2,197,053	△182,153	2,014,900
	国民健康保険(第2号)	19,460,599	413,840	19,874,439
	後期高齢者医療(第2号)	2,346,887	47,053	2,393,940
	介護保険(第2号)	17,550,398	20	17,550,418
	病院事業(第2号)	17,315,146	24,000	17,339,146

※病院事業の予算額は、支出予定額(収益的支出額)を掲載しています。

学習者用タブレット端末の取得について

小中学校及び中等教育学校の学習者用タブレット端末を取得します。

- 数量 6028台
- 取得予定価格 3億696万7980円
- 契約の相手方 株式会社両毛システムズ



市民プールの今後の考え方は

跡地への駐車場増設の方向性を決定しました



伊勢崎クラブ
野田 文雄

市民プールについて

今後の考え方は。

伊勢崎市スポーツ推進審議会での検討の中で、複数の委員から駐車場の増設の御意見がありました。また、市内の関係部署で構成するプール施設在り方検討会での検討の結果、既存の市民プールを廃止し、跡地に駐車場を増設することが最善策であるとの方向性を決定しました。今後も各スポーツ施設の整備状況や財政状況、利用状況及び費用対効果を踏まえ、関係団体から御意見を伺いながら必要性について検討していきます。

伊勢崎市民総合スポーツ大会について

リニューアルへの検討経過は。

種目によっては参加選手を集められず棄権となるケース、人員及びチーム数が限られるため出場できないケースもあります。また、1日の開催であるため会場と時間の都合で実施できる種目が限られ、競技人口が多い競技が採用されていない状況があります。これらの課題を解消し、地区の負担を減らせる開催方法について、一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会と協議を重ね、現在スポーツ協会に加盟している43競技団体の中から、市民の皆様を対象とした大会について、リニューアルして

開催する予定で進めています。リニューアルにより、競技数、参加人数の増加が期待され、開催時期も分散でき、大会全体の中止がなくなると考えています。また、従来の11地区での対抗戦ではなく、団体競技は所属するチームでの参加、個人競技は個人で参加する形式へ変更となります。

今後の考え方は。
より多くの市民の皆様の参加をいただき、健康増進につなげられるようリニューアルするとともに、一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会及び各競技団体と協働し、1市民1スポーツの更なる推進に向けた大会となるよう、進めていきます。

その他の質問

東京福祉大学との関わりについて



市民プールの在り方の検討を

業務へのAI等の導入についての考えは

実施可能な業務から導入していきます



伊勢崎クラブ
吉山 勇

業務へのAI等の導入について

本市の特徴に適した事業からAIを導入すべきと考えるが、市長の考えは。

本市では、令和元年度から前橋市、高崎市等と連携し、住民基本台帳業務及び税業務においてAI等を活用した実証事業に共同で取り組んでいます。今後も、限られた資源の中で持続可能な行政サービスを提供し続けていくため、国が作成する導入ガイドブックを参考に、業務プロセスの点検及び費用対効果等の検証を行い、実施可能な業務から順次導入していきます。

保育所の入所選考へのAI導入について

令和2年9月定例会では調査研究していくとのことだったが、その後の経過は。

他の自治体での導入実績がある事業者から情報収集を行っていて、各保育施設の協力を得られる効率的な入所選考業務の方策について、調査研究に取り組んでいます。

公民館・図書館の運営について

公民館及び図書館を、部局間連携を進めやすい市長部局へ移管する考えは。

県内12市の状況は、本市を含め多



多様なニーズに応える公民館運営を

その他の質問

結婚新生活支援事業の導入について
地域経済活性化について
市民の声を反映させるための場について

天神沼周辺の道路整備計画は

適切な時期の事業化を検討していきます



伊勢崎クラブ
田島 勉

外環状道路整備事業について

トレーニングセンター周辺の進捗状況は。

トレーニングセンター西側の道路について、主要地方道前橋館林線から東地区までを結ぶ700メートルの区間は、第1期事業として、平成30年度に完成しています。今後は交通需要の動向を踏まえ、土地の利用状況を見極めながら、進捗を図っていきます。

天神沼周辺の道路整備計画は。

道路整備については、あずまスタジアム等の公共施設利用者の利便性が図られるとともに、幹線道路ネットワークを構成する重要な区間と認識しており、周辺地域へのアクセス道路としての道路整備の在り方を含めた検討が必要と考えています。今後の社会情勢や、現在実施している幹線道路事業の進捗を踏まえ、市全体の事業のバランスを見極めながら、適切な時期の事業化を検討していきます。

市道第101号線との交差点に、地元住民から信号機設置の要望があるようだが安全対策の考えは。

この交差点は、交通事故が多発していることから安全対策が必要と認識しており、昨年11月に地元区長、役員



交差点の安全対策を

ワクチンの接種態勢の対応は

県及び地元医師会と連携していきます



伊勢崎クラブ
田島 勉

救急隊員の新型コロナウイルス感染予防について

ワクチンの万全な接種態勢を構築すべきだが、市の対応は。

感染症患者の搬送に携わる救急隊員等は、厚生労働省の厚生科学審議会における検討の結果、直接医療を提供する施設の医療従事者と同様、接種対象者として優先順位の上位に位置づけられています。医療従事者や救急隊員等の接種態勢は、県が調整し、本市消防本部の救急隊員は、今後214人が接種する予定です。本市としても、救急隊員が速やかに接種を受けられるよう、県及び地元医師会と連携し、対応していきます。

救急車両の感染症対策を強化すべきと考えるが、市長の考えは。

新型コロナウイルス感染症患者や濃厚接触者の搬送では、車内をビニールシートで区分するほか、換気、オゾン発生装置の配備、搬送後の車内消毒の徹底に努めています。救急搬送移送用隔離ベッドは、現在配備していますが、今後の感染状況などを注視しながら調査研究していきます。

就職氷河期世代を対象とした職員採用試験について



ワクチンの適切な接種態勢の構築を

その他の質問

高齢者の带状疱疹予防ワクチン接種への費用助成について
ひとり暮らし高齢者等の火災警報器給付事業について



問 本市の緊急事態宣言に伴う対応は

答 感染予防の呼び掛けと情報拡散を行いました

新型コロナウイルス感染症への対応について

問 本市における緊急事態宣言に伴う対応は。

答 外国人従業員が勤務している企業や外国人経営者の飲食店及び小売店等を県と市の合同により訪問し、感染予防の徹底を直接呼び掛けるとともに、外国人のコミュニティで中心的な役割を果たしているキーパーソンの方々に御協力をいただき、市のホームページや国際交流協会のフェイスブックのシェアを通じて情報拡散を行いました。

問 合同啓発の訪問先及び件数は。

答 本市の緊急事態宣言発出後、4日間にわたり、企業29件、個人経営者31件、宗教施設11件、小売店舗等7件、保育施設等5件、専門学校等3件、技能実習監理団体等25件、その他2件、合計113件訪問しました。また、夜の繁華街の対策では、群馬県知事に御同行いただき、本町通り周辺を中心として飲食店を105件巡回し、営業時間短縮や感染防止対策の徹底を呼び掛けました。今後も県と連携を図りながら、より多くの事業者の方に御協力いただけるよう、引き続き感染予防対策の周知に努めていきます。



平成クラブ
森田 修

問 伊勢崎市民病院の役割が、県とどのような関係になっているか。

答 新型コロナウイルス感染症患者への医療提供体制は、感染症指定医療機関が中心となり、県内の流行状況に応じた病床確保に努めています。市民病院でも県の要請に応じ、患者が必要な医療を受けられるよう人員体制の調整や医療機器の整備を図りながら、柔軟に対応しています。陽性患者の入院調整は、県が設置した病院間調整センターが地域の流行状況により特定の病院に集中しないよう、患者の状態などを考慮しながら広域的に行っています。市民病院では、これまでも急性期を中心とした医療提供により地域医療の充実に努めています。今後も県から指定された役割を果たしながら、適切な医療提供を行っていきます。



知事と市長による飲食店への協力要請

問 市民の活動制限緩和の今後の対応は

答 陽性者の動向を注視しながら対応します

新型コロナウイルス感染症対策について

問 新型コロナウイルス感染者が国内で初めて確認されてから約1年経ち、本市の傾向と分析のデータが揃ってきたが、今後はそれらのデータと、国と県からの情報を加味しながら本市独自の判断で様々な制限を緩和していくと良いと考える。そこで、市民の活動制限と公共施設利用制限の緩和についての今後の対応の考えは。

答 県が示す社会経済活動再開のガイドラインの警戒度及び本市の陽性者の動向を注視しながら、適切に対応していきます。

問 公共施設の利用制限について、緊急事態宣言が出されている埼玉県の本市、深谷市などは、公民館の利用の制限は行っているが、3密とならないよう対策を行った上で一般利用ができる状況となっている。さらに、本市では市民のコミュニティ活動はできるだけ中止しない方向で取り組んでいるとのことだが、本市ではこの点についてどう考えるか。

答 本市では新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開いていて、その中で、県の警戒度に準じて本市の施設の利用の制限などを決めています。現在、



有志会
小暮笑鯉子

県の警戒度は4ですので、それに準じて公民館などの屋内の利用は中止と決めています。

問 今までのPCR検査数と県全体に対する割合は。

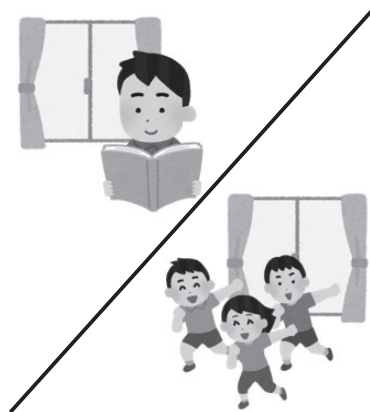
答 PCR検査は群馬県衛生環境研究所のほか、医療機関、PCR検査センター、民間検査機関などで実施されています。県全体の検査数は公表されていますが、市町村別及び外国人の割合などは公表されていません。

問 陽性者の症状別の特徴は。

答 全国の症例と同様、高齢者や基礎疾患のある方が重症化する傾向にあると認識しています。

その他の質問

●市民の健康とウェルネスについて



市民の活動制限と緩和を適切に

問 安心で安全なまちづくりの考え方は

答 本市の強みや地域特性を生かして進めます

線引きにやらないまちづくりについて

問 想定外の浸水被害が本市にいつ発生するかもしれない現在、どのようなまちづくりが必要か考えるべきと思ふ。無秩序な開発は市でできる限り制限し、緩和すべき点は積極的に国や県に働きかけることが安心、安全な伊勢崎市を未来の市民に残すことになると思いますが、市長の考えは。

答 本市の都市計画における線引き制度の考え方は、群馬県都市計画区域マスタープランの方針に基づき定めていることから、現時点では線引き制度を廃止する考えはありません。線引きをしていない赤堀都市計画区域及び東都市計画区域では、都市計画区域再編に向けて用途地域の指定など段階的にまちづくりを進めていきます。

また、現在の線引き制度に基づいて社会資本整備を行うことで大きな負担を後世に残す可能性も十分考えてこれからのまちづくりをしていかなければならないと思います。

今後の取組として、様々な地域の皆様の考え方やこれまでの歴史を勘案しないと土地の政策は形づくれないと思いますので、本市の強みや地域特性を生かし、市域全体の統一感を持った新しいまちづくりについて調査研究を進めていきます。

幹線道路沿いの規制緩和について

問 現在の財政状況を鑑みると民間資本による開発の促進が望まれるが、環境問題等の本市独自の条例を整備した上で、民間資本による開発を促進するための広報、相談窓口の設置等が必要と考えるが本市の対応は。

答 伊勢崎市都市計画マスタープランで示される広域幹線道路周辺の土地利用検討地は関係機関と調整を図りながら、開発許可の基準及び条例の改正について迅速に検討していきます。また、規制を緩和した場合の民間への支援及び相談窓口についても検討していきます。

その他の質問

●農政部について

●産業団地造成時における認可保育所の充実について



浸水した利根川水辺プラザ公園付近

問 窓口の課題に対する市長の認識は

答 来庁者が負担を感じることと認識しています

窓口対応について

問 窓口は市と市民の重要な接点で、住民サービスの向上を目指す上で大変重要な業務だが、一部では対応が悪いなどの意見も聞いている。このことを踏まえて窓口の課題や問題など、窓口対応に對しての市長の認識は。

答 市政に対する市民の皆様からの御意見等は、「市民の声」としてお寄せいただいています。そのうち窓口対応に関する内容は、職員の接遇態度に関するものが大半という状況です。市では多くの事務を取り扱い、それぞれの担当課が窓口を設置し、申請や相談を受けています。引越や出生など特定のライフイベントで来庁される方は、一つの目的のために複数の窓口へ出向き、別々に手続を行わなければならない、移動時間や待ち時間など、多くの負担を感じられることと認識しています。

このような状況を踏まえ、対応策の一つとして、ワンストップ窓口の設置を前向きに検討していきます。

問 ワンストップ窓口で対応する業務の範囲の考えは。

答 ワンストップ窓口の具体的な内容は、お悔やみ等の各ライフイベントに対応することを想定していますが、詳細は、今後設置を予定している検討組



伊勢崎クラブ
大木 光

織で調整したいと考えています。

問 窓口対応の仕方を変更するだけでも市民の利便性向上につながると思うが、即効性のある窓口対応の改善で考えていることは。

答 現在市民課では、各ライフイベントに伴う手続の際、その後必要となる手続が記載された一覧表を配付しています。また、全庁的に業務改善活動を実施していて、実施可能な改善策を適宜導入し対応していきます。今後も引き続き、ワンストップ窓口設置の検討を含め、来庁者の目線に立った窓口改善を進めていきます。

その他の質問

●公共施設管理運営について

●空き家対策について

●北部環状線について



窓口の市民サービスの向上を目指して

2021.4.1



文教福祉委員会

伊勢崎市介護保険条例の一部を改正する条例案

問 所得段階の低い対象者への保険料軽減の考えは。

答 国の公費負担により、引き続き低所得者等に配慮し、減額を行っていきたいと考えます。

経済市民委員会

伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

問 改正による加入者への影響は。

答 軽減判定基準の引き上げにより、前年と同じ収入額の世帯も、新たに軽減措置の対象となることが想定されます。

建設水道委員会

伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案

問 床面積が300平米以上2000平米未満の建築物を対象とした目的は。

答 従来は届出制だった建築物を消費性能適合性判定の対象とすることで大規模建築物と合わせエネルギー消費量の約50%に規制することが可能となり、一層の省エネ効果が見込めるためです。

令和3年度伊勢崎市水道事業会計予算

問 年間総給水量を令和2年度に対して2万立米減少とした算出根拠は。

答 節水機器等の普及により給水量は

特別委員会調査

3月16日に世界遺産活用調査特別委員会が開かれ、田島弥平旧宅活用基金と田島弥平旧宅の活用状況及び整備状況について調査を行いました。

3月19日に幹線道路整備調査特別委員会が開かれ、コミュニティバスあぞらの現状と新路線及び新車両について調査を行いました。

3月23日に議会改革調査特別委員会が開かれ、伊勢崎市議会基本条例の条文案について調査を行いました。

常任委員会審査

本会議で常任委員会に付託された議案などについて慎重に審査を行いました。主な質疑及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

令和3年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計予算

問 オートレース場施設維持管理事業の設計等業務委託料の内容は。

答 利用者が減少していることから管理経費の節減を図るため、県道2号線に架かる歩道橋を撤去する計画です。

伊勢崎市指定地域密着型サービスの事業に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例案

問 利用者や従業者の安全確保のための考えは。

答 市としても利用者や従業者のための施設環境の改善を目指しているため、国や県に随時要望していきたいと考えます。

令和3年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計予算

問 事業収入の減額理由は。

答 小学生が137人、中学生が6人それぞれ減少するためです。

令和3年度伊勢崎市病院事業会計予算

問 手術支援ロボットの更新事業により見込まれる効果は。

答 同一のチームで各種手術が可能となり、今後は肺がん手術にも活用できます。

結果 付託された12議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

令和3年度 各会計当初予算

(単位：千円　%)

区 分		令和3年度	令和2年度	増減率
一般会計		74,530,000	74,100,000	0.6
特別会計	小型自動車競走事業費	21,245,844	17,329,315	22.6
	学校給食センター事業費	2,139,463	2,146,296	△0.3
	国民健康保険	18,723,454	19,440,599	△3.7
	後期高齢者医療	2,424,573	2,327,943	4.2
	介護保険	17,091,413	17,028,058	0.4
企業会計	水道事業	7,297,863	7,069,120	3.2
	公共下水道事業	5,459,744	5,135,448	6.3
	農業集落排水事業	738,378	797,651	△7.4
	特定地域生活排水処理事業	33,043	32,180	2.7
病院事業		18,633,594	19,327,759	△3.6

※企業会計の予算額は、収益的支出額と資本的支出額の合計額を掲載しています。

●…賛成全会一致 ○…賛成多数 ×…否決

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
30	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	総務	3.23	●
31	学習者用タブレット端末の取得について	文教福祉	3.23	●
32	タブレット用電源キャビネットの取得について	文教福祉	3.23	●
33	市道路線の廃止について	建設水道	3.23	●
34	市道路線の認定について	建設水道	3.23	●
35	市道路線の変更について	建設水道	3.23	●
36	伊勢崎市介護保険条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.23	○
37	伊勢崎市指定介護予防支援等の事業に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.23	●
38	伊勢崎市指定地域密着型サービスの事業に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.23	○
39	伊勢崎市指定居宅介護支援等の事業に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.23	●
40	伊勢崎市指定地域密着型介護予防サービスの事業に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.23	○
41	伊勢崎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	3.23	●
42	伊勢崎市国民健康保険条例等の一部を改正する条例案	付託なし	3.23	●
43	副市長選任の同意について 下城 賢治(下植木町)	付託なし	3.23	●
44	教育長任命の同意について 三好 賢治(前橋市富士見町原之郷)	付託なし	3.23	●
45	教育委員会委員任命の同意について 山洞 広美(境米)	付託なし	3.23	●
46	監査委員選任の同意について 高田 嘉郎(富塚町)	付託なし	3.23	●
47	公平委員会委員選任の同意について 大工原 司(太田町)	付託なし	3.23	●

●…賛成全会一致 ○…賛成多数 ×…否決

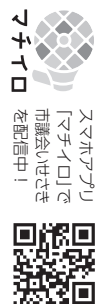
議案 番号	議案名	議決日	結果
1	伊勢崎市議会委員会条例の一部を改正する条例案	3.23	●
2	精神障害者に対する交通運賃割引制度適用への措置を求める意見書案	3.23	●

●...採択 ➡...継続審査 ✕...不採択 —...審査未了

受理 番号	件 名	付 託 委員会	結 果
1	安全・安心の医療・介護体制を確立し国民のいのちと健康を守るための請願	経済市民	

●…贊成全会一致 ○…贊成多数 ×…否決

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
1	伊勢崎市部設置条例の一部を改正する条例案	付託なし	2.22	●
2	令和2年度伊勢崎市一般会計補正予算(第7号)	付託なし	2.22	○
3	令和2年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計補正予算(第2号)	付託なし	2.22	●
4	令和2年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算(第4号)	付託なし	2.22	●
5	令和2年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	付託なし	2.22	●
6	令和2年度伊勢崎市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	付託なし	2.22	●
7	令和2年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算(第2号)	付託なし	2.22	●
8	令和2年度伊勢崎市病院事業会計補正予算(第2号)	付託なし	2.22	●
9	伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	総務	3.23	●
10	伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案	建設水道	3.23	●
11	伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.23	●
12	伊勢崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.23	●
13	伊勢崎市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.23	○
14	伊勢崎市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.23	●
15	伊勢崎市道路構造条例の一部を改正する条例案	建設水道	3.23	●
16	伊勢崎市道路占用料徴収条例及び伊勢崎市公共物管理条例の一部を改正する条例案	建設水道	3.23	●
17	伊勢崎市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.23	●
18	令和3年度伊勢崎市一般会計予算	予算特別	3.23	○
19	令和3年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計予算	総務	3.23	○
20	令和3年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計予算	文教福祉	3.23	●
21	令和3年度伊勢崎市国民健康保険特別会計予算	経済市民	3.23	○
22	令和3年度伊勢崎市後期高齢者医療特別会計予算	経済市民	3.23	○
23	令和3年度伊勢崎市介護保険特別会計予算	文教福祉	3.23	○
24	令和3年度伊勢崎市水道事業会計予算	建設水道	3.23	●
25	令和3年度伊勢崎市公共下水道事業会計予算	建設水道	3.23	●
26	令和3年度伊勢崎市農業集落排水事業会計予算	建設水道	3.23	●
27	令和3年度伊勢崎市特定地域生活排水処理事業会計予算	建設水道	3.23	●
28	令和3年度伊勢崎市病院事業会計予算	文教福祉	3.23	●
29	新市建設計画の変更について	総務	3.23	●



精神障害者に対する交通運賃割引制度適用への措置を求める意見書

障害者基本法は、精神障害者を身体障害者及び知的障害者、その他の心身の機能の障害がある者と同様に「障害者」と定義している。

障害者の自立及び社会参加を促進するためには、公共交通機関等による移動手段の確保及び経済的な支援が必要不可欠である。現在、身体障害者及び知的障害者に対しては、ＪＲその他の鉄道、バス、タクシー、高速道路の通行料金等に関わる交通運賃割引制度が適用され経済的負担の軽減が図られているが、精神障害者は除外されている。このことから、精神障害者が除外されている状況を早急に是正しなければならない。

よって、国においては、身体障害者及び知的障害者と同様に交通運賃割引制度が適用となるよう未実施の交通事業者等に対して積極的に働きかけ、必要な措置を講ずるよう強く要望する。

※意見書については、国の関係機関に送付し善処を要請しました。

各種名簿の変更

委員会、会派構成に変更がありました。

常任・議会運営委員会

委員会名	総務	文教福祉	経済市民	建設水道	議会運営
定数	8人	8人	7人	7人	10人
委員長	大木 光	須永 聡	伊藤 純子	長沼 宏泰	新井 智
副委員長	佐藤 智則	細谷 泰治	藤生 浩二	多田 稔	須永 聡
委員	篠塚 秀之 鈴木 良尚 高橋 宜隆 手島 良市 野田 文雄 森田 修	小暮 笑鯉子 定方 英一 田部 井美晴 長谷田 公子 馬庭 充裕 吉山 勇	内田 彰 北島 元雄 新藤 靖 田島 勉 山越 清彦	新井 智一 田村 幸行 原田 和子 堀地 和典 宮田 芳典	内田 彰 新藤 靖 田島 勉 田村 幸一 野田 文雄 長谷田 公子 堀地 和子 吉山 勇

特別委員会

委員会名	世界遺産活用調査	少子高齢化対策	地域経済振興対策	幹線道路整備調査	議会改革調査
定数	7人	7人	7人	7人	12人
委員長	田島 勉	手島 良市	田村 幸一	新藤 靖	野田 文雄
副委員長	佐藤 智則	藤生 浩二	堀地 和子	田部 井美晴	手島 良市
委員	内田 彰 長谷田 公子 森田 修 山越 清彦 吉山 勇	新井 智 小暮 笑鯉子 多田 稔 野田 文雄 馬庭 充裕	伊藤 純子 篠塚 秀之 鈴木 良尚 須永 聡 細谷 泰治	大木 光 北島 元雄 高橋 宜隆 長沼 宏泰 原田 和行	新井 智 大木 光 新藤 靖 須永 聡 高橋 宜隆 田島 勉 長谷田 公子 馬庭 充裕 森田 修 吉山 勇

会派別名簿

伊勢崎クラブ ○原田和行 吉山 勇 新藤 靖	野田文雄 長沼宏泰 須永 聡	田島 勉 大木 光 細谷泰治	鈴木良尚 藤生浩二 定方英一	新井 智 佐藤智則 宮田芳典
公明党 ○内田 彰	手島良市	田部井美晴		
平成クラブ ○田村幸一	森田 修	山越清彦		
有志会 ○堀地和子	高橋宜隆	小暮笑鯉子		
日本共産党議員団 ○北島元雄	長谷田公子			
いせさき未来 ○馬庭充裕				
こども未来 ○多田 稔				
		正論の会 ○伊藤純子 令和の輝き ○篠塚秀之		



○…代表者

新議員紹介

1月17日執行の伊勢崎市議会議員補欠選挙で、山越清彦氏、篠塚秀之氏が議員に当選されました。

なお、2月22日の本会議で常任委員会、特別委員会の所属が決まりました。

次回定例会日程表(予定)

6/11	金	本会議
6/14	月	本会議(一般質問)
6/15	火	本会議(一般質問)
6/17	木	総務委員会
6/18	金	文教福祉委員会
6/21	月	経済市民委員会
6/22	火	建設水道委員会
6/28	月	本会議